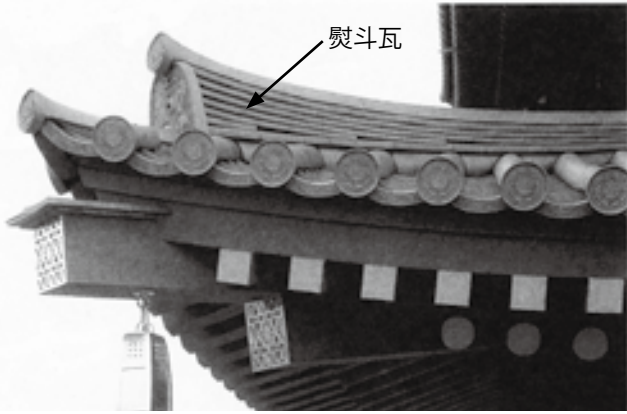


時の記憶

シリーズ71

生涯学習課

☎43-1111(内線1234)



天平一三(741)年、聖武天皇が鎮護国家を願い全国に国分寺・尼寺を建立します。そんな中で、国分二寺に瓦を供給するため各地で瓦の生産が開始されます。瓦塚窯跡もそのような窯跡の一つです。

石岡市では現在、瓦塚の範囲確認調査を行っており、3回にわたり平成22年度の成果を紹介

瓦塚窯跡特集 平成22年度の成果④

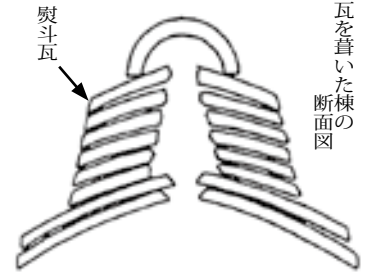
瓦編3

してきました。今回も、引き続き確認された瓦について、話したいと思います。

今回紹介するのは「熨斗瓦」です。熨斗瓦とは、屋根と屋根のつなぎ目の部分に葺く瓦のことです。このつなぎ目の部分を棟むねといい、さらにてつぺんの部分を「大棟おおむね」、側面の部分を「降り棟くだ」と呼びます。また、「棟」と書いて「ぐし」と呼ぶこともあります。

この棟の部分から雨漏りがないように、またはこの部分を装飾し屋根を立派に見せるために、土台として葺かれたのが熨斗瓦なのです。屋根瓦を葺く以上は、熨斗瓦が必ず存在するはずで、これまでも平瓦が縦方向に半分に分れた状態で出土したものが熨斗瓦ではないかとも言われてきました。しかし、今回確認されたものは、瓦を焼成

熨斗瓦を葺いた棟の断面図



▲瓦塚出土の熨斗瓦

する前に両端を調整し細長く加工しており、明らかに最初から熨斗瓦として作られていたことが分かります。これも従来は確認されていない初検出のもので

瓦塚窯跡の3次元測量を視察

パキスタン・イスラム共和国 考古学者

マツラー博士来訪

去る7月7日、パキスタン・イスラム共和国の考古学者Q. H. マツラー博士が瓦塚を訪問しました。博士は遺跡の3次元測量に興味を持っており、そのデータの取得方法を学ぶために、3次元測量を実践している瓦塚を訪れたというわけです。教授は、国府から10^キ以上も離れた工房から徒歩で重い瓦を運んだということに最初は驚いていましたが、この地から良質な粘土が採掘され、現在でも瓦作りが続いていることを説明すると、納得した様子でした。また、有名な「モヘンジョダロの遺跡群」でも、実はレンガを焼いた工房は確認されており、距離の離れたところでも探してみることが必要があると言っていたのが印象的でした。わずかですが、瓦塚を通して日本とパキスタンの親善に貢献できたと思います。

また、有名な「モヘンジョダロの遺跡群」でも、



マツラー博士(右)と案内する職員

まちかど情報センターニュース

開館時間：午前10時～午後7時 休館日：木曜日
石岡市国府3-1-16 問い合わせ ☎27・5171

駐車場は、まちかど情報センター駐車場（向かい側）・臨時駐車場（土橋通り）を利用ください。

まちかど音楽祭

～東北地方の民謡を中心に～

「わすれないひたちみちのく心はひとつ」
復興応援メッセージを民謡で伝えます。

日時 9月25日（日）午後2時～

出演 あんたがたごさ



第3回「お口の健康」

～乳幼児期からのメンテナンス～



「虫歯菌・歯周病菌との戦い」身体の健康は健口から。勝利のカギは、ママの知恵。虫歯にならない環境づくり。細菌大軍団に立ち向かうキシリトール大作戦！

日時 9月3日（土）午後2時～4時

講師 須藤孝秀先生（須藤歯科医院）

美人画展「おんな…髪」

日時 9月11日（日）午後3時まで開催中！

出展者 萩原寛氏

建築士会による絵画展

「未来に自分が住んでみたいまちや家」

日時 9月30日（金）～10月8日（土）正午まで

休館日のお知らせ

石岡のおまつりに伴い、9月16日（金）～22日（木）の期間は、通常業務を休みます。23日（金）から通常通り開館します。

まちかど学習会

「シニアのための携帯安全教室」

～らくらくフォンを使用して～

日時 9月4日（日）午後2時～3時

講師 NTTドコモ社員

※auやソフトバンクの人も参加できます。



第3回「サンド市」

～歴史の風になかされてまちを歩いてみませんか～



日時 毎月第3土曜日午前11時～午後3時

※今月は祭礼のため、第4土曜日開催です。

場所 香丸・中町・御幸通りの参加店前

まちかど情報センター

内容 各店ワゴンセール・朝市・割引セール・フリーマーケット

※参加者募集中です。問い合わせください。

☆9月のコミュニティ☆

折り紙教室 24日（土）午後1時30分～

育児サークル（わんにゃんキッズ）

毎週水曜日 午前10時30分～

心と体の健康相談おしゃべり交流会

毎週水曜日 午前10時～

日本語教室 毎週金曜日 午前10時～

ちりめん小物 今月は休みです

東日本大震災の災害見舞金

住家の一部損壊に1万円の見舞金

市では、東日本大震災で住家の一部が損壊した人に見舞金を支給することになりました。

被災した人は、期限内に届け出の手続きを行ってください。

○対象者

- ・平成23年3月11日現在、石岡市の住民基本台帳に載っている世帯主および外国人登録原票に登録されている世帯主
- ・平成23年3月11日現在、居住していた住家の一部が損壊した人（市のり災証明書が、半壊・大規模半壊・全壊住家は対象外）

○対象にならないもの

- ・門や塀、柵などの外構部分
- ・倉庫や車庫など居住場所以外の建物
- ・家具や家電などの家財道具
- ・別荘

○見舞金の額

一世帯1万円（口座振込み）

○受付期限・時間

平成23年9月30日までの平日 午前8時30分～午後5時15分

○受付場所

市役所1階ロビー

・八郷総合支所1階ロビー

■届け出に必要なもの

- 1 次1 2 3 4を持参ください。
- 2 1り災したことが分かる書類
- 3 ①②③のいずれか一つ。
- 4 ①市が発行した「り災証明書」で、被災の程度が半壊に至らない（一部損壊）もの。

※高速道路専用などのり災証明書では、届け出できません。

②被災か所が分かる2枚以上の写真

※家屋全体と損壊部分が、鮮明に撮影されたもの。

③修繕した経費の領収書

※内訳明細が記入されているか、別紙明細があるもの。

2 届出者の本人が確認できるもの

※免許証・健康保険証・パスポートなど。

※世帯主以外の家族が届け出する場合、委任状が必要です。

3 世帯主の預金通帳（振込先口座が確認できるもの）と認め印

4 外国人登録している人は、外国人登録証

問い合わせ

市役所社会福祉課
☎23・1111（内線156）
八郷総合支所 市民窓口課
☎43・1111（内線1122）



図書館つうしん

■ 問い合わせ 石岡市立中央図書館
☎ 24・1507



《9月13日～20日は特別図書整理休館》

図書整理休館

9月13日(火)～20日(火)は、蔵書点検のため、中央図書館、中央・東地区・城南地区公民館の図書室が休館・休室になります。この期間中に本などを返却する場合は、中央図書館の玄関脇にある「返却ポスト」を利用ください。

ただし、DVD・CD・カセット・CD-ROM付きの図書は、壊れることがありますので、返却ポストに入れず、開館日に直接カウンターへ返却ください。なお、各公民館でも返却できますので、利用ください。

理解のうえ、協力願います。※9月12日(月)は休館日のため、実際には12日～20日までが休館となります。

《図書館の利用案内》

図書を借りるには、図書館利

用カードが必要です。初めて図書を借りるときは「図書館利用カード交付申請書」に記入し、住所・氏名・生年月日が確認できるもの(運転免許証・保険証などで住所の記載があるもの)を持参ください。

【利用できる人】

・市内在住・在勤・在学の人
・小美玉市・かすみがうら市・土浦市・笠間市在住の人

【利用上の注意】

次の場合は、貸し出しや予約ができなくなりますので、ご注意ください。

① 「図書館利用カード」の提示がない場合

▽利用カードは、貸し出し・予約の際に必ず必要です。忘れずに持参ください。

② 「図書館利用カード」の更新が済んでいない場合

▽利用カードの有効期限は、3年間です。更新手続きは、案内後、2か月以内に行ってください。

③ 返却期限が過ぎている図書などがある場合

▽多くの利用者が利用できるよう、返却期限を守ってください。

● 図書などの貸出点数・期間

資料名	貸出点数	貸出期間
図書	8冊以内	14日以内
紙芝居	2冊以内	14日以内
ビデオ DVD CD	合わせて 2点以内	7日以内
雑誌	2冊以内	7日以内

中央図書館2階視聴覚室

《9月のおはなし玉手箱》
・3日(土) 午前10時30分～
《9月のおはなし会》
・24日(土) 午前10時30分～

※蔵書点検のため、日程変更。
中央公民館和室

《9月のおはなしフレンズ》
・10日(土) 午後2時30分～

◎対象は、幼児から小学校中学年程度です。時間はいずれも30分程度です。興味のある人は、お出でください。



【休館日】	
9月	10月
5・12	3・10
13～20	11・17
23・26	24・27
	31

9月1日は防災の日 8月30日～9月5日は防災週間です

■ 問い合わせ 総務課
☎ 23-1111 (内線 258)

9月1日の「防災の日」を含む1週間は、防災週間です。この期間は、台風シーズンを迎える時期であり、過去には関東大震災や伊勢湾台風により、大きな被害が出ました。3月11日の東日本大震災を体験したことで、市民の防災に対する関心は、より一層高まっていると思います。防災週間を契機に、地震や風水害、土砂災害など様々な災害についての認識を深め、防災に対する心構えをしっかりと持ちましょう。

今年、大震災の影響もあり、今年より多くの気象警報などが発令されることが予想されます。家族や地域、学校や事業所などで、備蓄品の点検や避難場所の

確認、互いの連絡方法などについて再確認しておきましょう。



☞ 防災情報を活用しよう!
市では、ホームページで避難場所や土砂災害警戒区域など様々な防災情報を掲載しています。一度、確認してみてください。

・市のホームページ

☞ <http://www.city.ishioka.lg.jp/>

▼ トップページ ↓ 暮らしの情報 ↓ 防災 ↓ 避難所一覧 ↓ 土砂災害警戒区域等

最近、インターネットや携帯サイトの防災情報が非常に充実しています。個人のメールアドレスを登録することで緊急情報(地震や気象情報など)を瞬時に受信できる県の防災情報メールもあります。雨量情報など正確な情報を災害発生前に知ることで、早期の対応や避難判断に役立ちます。これらの便利な情報をもっと活用しましょう。

・県防災情報メール(携帯電話メールへ情報を自動送信)

☞ <http://mobile.pref.ibaraki.jp/index.cgi?page=3014&>

・県防災危機管理ポータルサイト
☞ <http://www.pref.ibaraki.jp/bousai/>



今後の開催予定

さわやかハーモニーセミナー

市では、男女共同参画社会の実現を目指すため、学習・啓発の機会を設けることを目的にセミナーを計画し、毎年開催しています。

今年度の開催は、次の通りです。詳細については、開催時期にあわせて、市報でお知らせいたします。ぜひ、参加ください。

問い合わせ
企画課男女共同参画担当
☎23・1111 (内線222)

<p>第2回 10/29</p>	<p>県女性プラザ公開講演会・映画上映会 「レオニー」に学ぶ ～不運な体験をプラスに変える力～</p> <p>講師：映画監督・脚本家 松井 久子</p> <p>日程：10月29日(土)</p> <p>場所：茨城県女性プラザ(行方市)</p> <p>定員：30名程度</p>
<p>第3回 11/20</p>	<p>公開講演会 「人生 マウンテンあり バレーあり」</p> <p>講師：タレント ルー大柴</p> <p>日程：11月20日(日)</p> <p>場所：ふれあいの里石岡 ひまわりの館</p> <p>定員：200名程度</p>
<p>第4回 1/15</p>	<p>「活力をみたく 心とからだのリセット術」 ～輝いていきるための健康づくり～</p> <p>ストレス解消方法や心身のバランスを保つノウハウなどを、実技を交えて学びます。</p> <p>講師：心理カウンセラー 武藤 幸枝</p> <p>日程：平成24年1月15日(日)</p> <p>場所：ふれあいの里石岡 ひまわりの館</p> <p>定員：20名程度</p>

午後1時30分～4時
女性のための 困りごと相談

離婚・配偶者からの暴力・家庭の悩みなど、女性の抱える様々な問題や悩みなどについて、専門の相談員が、相談者から自らの力で解決できるように支援します。【秘密は厳守します】

■ 問い合わせ・相談予約先
企画課男女共同参画担当
☎23・1111 (内線222)

＊市役所1階相談室(毎週木曜日)
＊八郷総合支所1階相談室
(今月は9月27日(火))

生活ホットライン 高齢者の被害が急増!!



独り暮らしや夫婦のみで暮らす高齢者を狙った、悪質な手口による被害が増えています。

最近「震災に遭って」を語って同情をかう手口や『放射能』の不安をおおる手口がみられます。

【悪質業者の撃退法】

- ・知らない人が来たら、絶対にドアは開けない!
- ・親しげな言葉やうまい話に注意!
- ・知らない物は契約しない!

◆被害を防ぐには

- ＊家族間のコミュニケーションをとって被害を早く気付いてあげる。
- ＊普段から地域で声を掛け合い、暮らしの変化に注意して見守る。
- ＊迷った時、困ったときには、消費生活センターに相談する。

【特に多い相談】

- ・点検商法：家屋・布団・水道
- ・催眠商法：無店舗で販売する
- ・次々販売：次から次へと契約を勧められる
- ・振り込め詐欺
- ・息子を名乗る
- ・男から電話
- ・利殖商法：「必ずもうかる」

【高齢者の消費者被害の特徴】

- ・健康上の不安につけこまれる
- ・契約購入金額が高額(支払った金額も高額)
- ・情に訴えられると断れなくなる
- ・被害があっても、周りに迷惑をかけたくないとの思いから相談しない

■消費生活センター(市役所内)
月・金曜日(祝日除く)
午前10時～正午
午後1時～4時30分
☎22・2950

文芸いしおか

俳句

貝地 小池つと夢
風評を頓着しない青蛙
旭台 綿引さかえ
七夕の笹には重い千羽鶴
国府 大場 和子
たましひの抜けて海月となり
にけり

泉町 石神 秋羅
梅雨明けて身の門をはずしたる
若宮 今川 武男
蓮聞く亡友と蛸姑釣りし池
総社 山口美津子

短夜や十七文字が踊り居る
川 又 川又 溪二
鼓峰恋ふ芦間葭切こもり鳴く
瓦谷 鈴木 浦子
天の川師の面影の見えかくれ
瓦谷 萩原 梨郷
蓮の葉の大水玉の揺れどうし
柿岡 斎藤 秋声
素十紅花園みて鼓峰月に住む

短歌

北府中 梶山サヨ子
傾り咲くあやめの傍へに伏流水
日に照りながら流れてゆけり

茨城 鈴木 緑

梅雨晴れをほたるぶくろの白い
花かすかにゆらし風とおりにゆく
石岡 外川なをみ
恙なく齢かさねて今日もまた愛
犬と語らい花と詠る
総社 諏訪ハツエ

坂下に宅地造成されてより学校帰
りの子らの声増す
東光台 内田千代子
津波にて夫と息子を失いし人は
問われて「何もいえない」
井関 木間塚眞子

炎天の畑にはびこるすべりひひゆ
無駄なく食す鷹山の郷
柴内 羽生 俊
庭の椅子に風は涼しく夏の宵
星はかがやき螢の遊ぶ
山崎 鈴木 君江

小さき毬残して風に栗の花ほ
たり落ち継ぐ見ている間にも
東成井 小島 せん
こわかれし屋根のブルーシート
痛々し三月十一日大震災ありき
山崎 荒井 幸子

久々に会へる友らと語り合ふ大
震災の恐さまざまさと
山崎 荒井 幸子

俚謡

総社 鈴木 虚心
ミニのスカート 若さが弾む
テニスコートに 夏が来る

肌の違った 女が一人
夏の浅草 カーニバル
南台 月乃香貞耶姫
子ども時代が 消えては浮かぶ
螢飛び交う 夏の宵
若松 川崎 洋子

じっと見つめる 線香花火
落とすため息 ひとり夏
下林 白井富喜江
避難した子が 笹短冊に
祈り書き込む 小さい手
貝地 前島くに子

共に苦楽を 歩んだ二人
思い出しての 初夏の株
東石岡 小野 芋子
東日本へ 捧げる願い
生きる勇気と 鎮魂歌
柿岡 野口由紀子

あの日散らした 幾多の命
むせぶサイレン 夏の海
下林 関 清志
川の流れと 自然の恵み
故郷の思い出 ホタル狩り
杉並 助川 浩史

被災乗り越え 今年もやるぞ
燃える東北 夏祭り

市民ずいひ

危険な歌

打田 昇三

「丈夫の轡の音すなりものの
ふの大臣楯立つらしも我が子
文武天皇の天折で遺言により即
位した元明天皇が蝦夷遠征と思
われる動静を案じて詠んだ歌で
ある。姉の御名部皇女が「わご
大君ものな念ほし皇神の嗣ぎて
賜へる吾無けなくに」と返した。
萬葉集巻一にある。不安な妹に
「私が居るから…」は激励の決
まり文句でも、専門の学者から
は危険な歌だと指摘されている
そう、皇女の息子の長屋王は
二十年後に無実の謀反罪で家族
共に処刑されてしまった。

長屋王が長屋親王と呼ばれて
いたことは木簡の出土などで話
題になっているが、母親の歌は
問題にされていないかと思ふ。
私は、京都大学名誉教授 上田正
昭先生が編纂された「古代日本
と東アジア」の関わりを説く著
書で是を知った。知人から頂い
て、日本史に東アジアは…と、
暫く読まずにいたから、歌のこ
とを知ったのは最近である。

長屋王の正室は女帝の娘・吉
備皇女で、藤原系の聖武天皇よ
り皇統に近い。藤原一族には気

になる存在である。長屋王が何
と呼ばれようが、この夫妻は除
かれる運命にあった。

文化協会だより

●太々神楽保存会

・太々神楽奉納
【日時】9月11日(日)・12日(月)
・午後7時～11時
【場所】柿岡八幡神社神楽殿
※毎年、中秋の名月の夜に神楽
舞を奉納します。

■問い合わせ
松川 ☎43・1020

●石岡大正琴愛好会

・大正琴演奏会
【日時】9月25日(日)
午前11時～午後2時
【場所】県フラワーパーク
※気軽に出席ください。

■問い合わせ
沖田 ☎24・0588

●石岡短歌同好会

・定例歌会
【日時】毎月第3水曜日
午後1時～
【場所】国府地区公民館
※気軽に出席ください。
■問い合わせ
内田 ☎26・3074



八幡神社
荒宿八幡神社

柿岡のおまつり

7月23日、24日の二日間にわたり、柿岡のおまつりがにぎやかに開催されました。今年のおまつりは、特に『東日本大震災復興祈願』として行われました。

祭り初日は、午後5時の花火を合図に、館諏訪神社の獅子と、荒宿八幡神社のささらが巡行しました。また、柿岡のからくり人形が八幡神社の境内に展示されました。神輿が、八坂神社から御仮屋に安置されて、一日目が終わりました。

二日目は、午前8時からの御仮屋での祭典式の後、館の獅子と荒宿のささらが巡行し、午後0時30分の花火を合図に、神輿が御仮屋を出発し、地元の担ぎ手によって、各町内を渡御しました。

初日に展示されていた、柿岡のからくり人形の山車も巡行。「はらんばい人形」「ことわり人形」「くらり人形」の3体が、山車の上で「矢車拍子」にあわせ、曲芸を披

露しました。夕方からは、待ちに待った華麗な6台の山車が、お囃子に合わせて町内を練り歩き、神社前では山車の競演が行

迎えました。この祭りの終わりとともに、本格的な夏が訪れました。



各町内を渡御する神輿



下宿の山車



荒宿八幡神社のささら



館諏訪神社の獅子



八坂神社



祭仕度をした犬



神社前での山車の競演



からくり人形の山車巡行